

(様式2)

平成 30 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570600948		
法人名	株式会社 加治川の里		
事業所名	グループホーム加治川の里		
所在地	新潟県新発田市向中条2843番地1		
自己評価作成日	平成30年9月16日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai.gokensaku.nhlw.go.jp/15/i/ndex.php?acti on_kouhyou_detail_2017_022_kani =true&amp;Ji_gyosyoCd=1570600948-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022">http://www.kai.gokensaku.nhlw.go.jp/15/i/ndex.php?acti on_kouhyou_detail_2017_022_kani =true&amp;Ji_gyosyoCd=1570600948-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	平成30年10月17日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

みんな笑顔で暮らしたいと開設したグループホーム加治川の里は今年で開設14年目となりました。稲作の農地と楡形山脈に囲まれた地域に位置し、季節の移り変わりを自然と感ずることが出来る環境にあるグループホームです。中庭には畑や果樹があり、季節の物の収穫や作業を通して昔のことを思い出したり、共同作業を通してホームでの仲間作りを支援しています。ユニットから見える中庭からも季節を感じ、農村地帯の穏やかな生活を個々のペースで過ごしています。

開設から地域との交流が課題でしたが、毎月1回開催する「よらいすカフェ」によって少しずつ地域交流が出来るようになりました。地域の行事クリーン作戦やお宮掃除などに参加、8月13日に行われる仮装盆踊り大会に仮装して参加したりと地域行事の参加にも様々な方からお声がけいただけようになりました。これからも地域活動に積極的に参加し地域住民との交流を進めていきたいと思ひます。また、傾聴ボランティアや太極拳など地域の方が定期的にホームに来られ、交流を続けています。この交流で顔なじみの関係が出来、利用者にとってもホームにとってもより良い環境になるように努めています。

ホームには看護師が常勤で勤務し協力医や主治医の医療連携によって希望に応じて看取り介護を行っています。ホームでの看取り介護を通して職員は様々な学びがあり、利用者一人一人が人生の先生だと感じています。介護を通じ知り合ったこの出会いを大切に、利用者や家族がグループホーム加治川の里に入居して良かったと思っていたいただけるように、心を込めて寄り添っていきたく思ひます。

#### ○穏やかで心地よい立地環境

事業所は広大な敷地内に、ゆったりとした造りで建てられており開所14年目を迎えた。澄み渡る空気の中、農作業をする人々の姿に心とませ、四季折々に変化する姿を楽しませてくれる田園風景や楡形山脈に囲まれ、利用者が安心して過ごすことができる豊かな環境となっている。また、職員のゆったりとした振る舞いと温かな雰囲気誘われ、いつの間にか利用者が集うホール内は会話と笑い声の絶えない居場所となっている。

#### ○ほのぼのとした地域交流と家族とともに支え合う関係の良さ

利用者と共に作り上げた事業所理念である「笑顔」「チームワーク」「安心」の下、利用者が在宅生活で培ってきた役割を継続できるよう、一人ひとりに向き合い、持てる力を活かすことを基本とした、利用者本位の生活リズムに配慮された支援がなされていた。また、家族の協力も得ながら、外出や通院など、共に支えていく支援に努めている姿勢が窺えた。職員の笑顔とゆとりある姿勢は利用者の安心に繋がっていることも感じられた。地域との交流も盛んに行われており、防災訓練への参加協力、地域行事や地域の共同作業への参加、ボランティアの来園等、良好な関係を築いている。また、管理者・職員間では和やかなチームワークが感じ取れるものであった。職員の事業所内外での学びの機会への支援等、育成に向けた姿勢も強く感じられた。職員間の関係も良く、気軽に意見を言い合える関係が図られており、現場職員の向上心に繋がっていると感じとれた。

#### ○関係機関との連携について

関係機関との連携面でも、運営推進会議のメンバーとも関係構築が図られており、毎月開催される「よらいすカフェ」の折には利用者の生活の様子を観てもらえる機会を設けるなど、折に触れ市担当者や包括支援センター職員との情報交換や相談事も気軽になされており協働の姿勢を深めている。